



BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。  
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

# 暗号資産取引所とは？ その仕組みと手数料を徹底解説

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-a-crypto-asset-exchange-a-thorough-explanation-of-how-they-work>

ビットコインなどを売買するには、[暗号資産（仮想通貨）](#)取引所を利用してビットコインなどの暗号資産を売買することが一般的ですが、暗号資産取引所は一体何でしょうか？ その仕組みや種類、手数料はどういうことですか？

本記事では、暗号資産取引所とは何か、その仕組みや手数料など、暗号資産取引所について徹底的に解説していきます。

## 目次

- [1. 暗号資産の流動性とは](#)
- [2. 暗号資産取引所とは](#)
- [3. 中央集権的な暗号資産取引所の仕組み](#)
- [4. 銀行連動型の暗号資産取引所とは](#)
- [5. メイカー/テイカーとは](#)
- [6. 暗号資産取引所の手数料](#)
- [7. なぜ本人確認が必要？](#)
- [8. ピアツーピア（P2P）の暗号資産取引所](#)



## 1. 暗号資産の流動性とは

---

流動性とは、ある資産の売買のしやすさのことで、その資産の買い手と売り手（市場参加者）の数に大きく依存します。現金はほとんどすべての人に受け入れられる、交換できる通貨として、最も流動性の高い資産であると考えられています。自動車は買い手を探すのに多少の労力が必要なため、通常、比較的流動性の低い資産と言えます。高級車のコレクターは、買い手の数が少ないので、さらに流動性の低い資産となります。

ビットコインは、市場参加者が最も多いため、すべての暗号資産（仮想通貨）の中で最も流動性の高い通貨です。ビットコインの1日の取引高は数百億ドルとなっています。それでも、ビットコインは、少なくとも日常的に使用する場合には、現金よりもはるかに流動性が低いと言えます。そのため、ビットコインを売買する仮想通貨取引所の必要性が出てきたのです。



## 2. 暗号資産取引所とは

---

暗号資産取引所とは、[ビットコイン](#)のような暗号資産（仮想通貨）の買い手と売り手をマッチングさせるサービスを提供する取引所のことです。暗号資産（仮想通貨）取引所の出現により、ビットコインは大規模なトレーダーにとって流動的な資産となりました。

多くの人が暗号資産取引所について語る時、それはコインベース、バイナンス、**Kraken**など、ビットコインやその他多くの仮想通貨の取引を容易にする中央集権型の「ホスト型」プラットフォームを指します。**Robinhood**や**Charles Schwab**などの株式取引プラットフォームと同様に、暗号資産（仮想通貨）取引所では買い手と売り手のマッチングを行います。

ここで重要なのは、中央集権的な暗号資産取引所は、定義上、お客様のために暗号資産（仮想通貨）を保有することです。これはセキュリティに関わるだけでなく、暗号資産（仮想通貨）を自由に使うことにも影響します。

## 3. 中央集権的な暗号資産取引所の仕組み

---

暗号資産取引所の取引手順については、ユーザーの立場からすると、典型的な操作の流れは次のようになります。

- 暗号資産取引所に口座開設し、マイナンバーなど身分証明書を提示する。
- 新しく作成したアカウントに、ビットコインや他の暗号資産（仮想通貨）、場合によっては現地通貨をご入金
- 「買い/売り注文」を設定して取引する

買い注文と売り注文は、暗号資産取引所が管理する「トレード・オーダー・ブック」に集約され、買い手と売り手のマッチングが自動的に効率よく行われます。ほとんどの仮想通貨取引所では、「成行買い注文」と「指値買い注文」のどちらを設定するかを選択することができます。

成行買い注文を出すときは、買いたいビットコインの枚数を指定するだけです（価格を設定する必要なし）。暗号資産取引所は、現在の最低価格を提示した売り手と自動的にマッチングし、取引を実行します。通常、成行注文は即座に完了します。つまり、買い注文を出すとすぐに、購入したビットコインを

取引所のウォレット/アカウントに受け取れるということです。

指値買い注文を作成する際には、買いたいビットコインやほかの暗号資産（仮想通貨）の枚数と価格を指定する必要があります。売り手が買い手の設定した価格（「指値」という）を受け入れる意思があれば、買い注文は実行されます。その後、購入したビットコインが該当暗号資産取引所のウォレットに表示され、ウォレットの中で購入金額に応じるお金（または他の暗号資産）は消えます。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

## 4. 銀行連動型の暗号資産取引所とは

---

現地通貨の出し入れが可能な暗号資産取引所を「銀行連動型取引所」と呼びます。

一部の取引所では、購入取引では現地通貨での送金が可能ですが（通常はクレジットカードやPayPalなどの決済アプリを利用）、現地通貨からクレジットカードや決済アプリへの送金はできないようになっています。これらは「部分銀行連動型」取引所と呼ばれています。

## 5. メイカー/テイクカーとは

---

一般的に、取引所の利用者が多ければ多いほど、「マーケットデプス」を提供することができます。マーケットデプスとは、取引所のオーダーブックの大きさのことで、流動性に影響を与えます。

メイカー（Maker）とは、板に流動性を提供する注文です。一般的には、メイカー注文は注文した後に直ちに約定されず、オーダーブックに並ぶ注文となります（指値注文はメイカー注文とは限らない）。取引注文の数が多ければ多いほど、世界の市場価格に近い水準で大量の暗号資産を売買することが容易

になります。

テイカー (Taker) とは、既に板に並んでいる注文を約定させる注文です。一般的には、テイカー注文は注文した後すぐに約定されます。成行注文を出すと、オーダーテイカーになります。指値注文をしたとき、自分の注文がたまたま板にある他の人の注文と一致すれば、テイカーにもなります。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典 \(10,055USDTギフトパック\) <<<<](#)

## 6. 暗号資産取引所の手数料

---

暗号資産取引所を利用する際、手数料がかかります。このような取引所では、以下の手数料の一部または全部を負担することがあります。

### ▪ 出金手数料

ほとんどの取引所では、ビットコイン、その他の暗号資産、または現地通貨を引き出す際に手数料を徴収しています。多くの場合、出金手数料は、出金額に対するパーセンテージではなく、出金ごとに課金されます。取引所の出金手数料は頻繁に変更される傾向にあり、通常、事前に通知されません。

### ▪ 取引手数料

取引手数料は通常、取引額に対するパーセンテージで請求され、多くの場合、保留注文か注文請負かによって異なります (上記参照)。多くの場合、保留中の注文者は、注文者よりも低い取引手数料を支払います。その根拠は、保留中のオーダーテイカーは流動性を高め (したがって割引を受けるべき)、オーダーテイカーは流動性を低下させる (したがって追加手数料を課すべき)、というものです。

### ▪ 金利・借入金・決済手数料

暗号資産取引所によっては、信用取引 (レバレッジ取引) を行っているところもあります。つまり、お金を借りて自分のポジションを増やす、いわゆるレバレッジをかけることができるのです。信用取引を行う取引所では、通常、追加手数料がかかります。その額は、借入額と、すべてのトレーダーが利

用可能な資金の合計によって決まる借入金利によって決まります。また、お客様のポジションが清算された場合、追加手数料を請求することがあります。

BTCC暗号資産取引所は、レバレッジ付きのビットコイン [\(BTC\) 先物](#) やイーサリアム [\(ETH\) 先物](#) 取引サービスを提供しておりますので、ご興味ありましたら下記のサイトへご確認ください。

**関連:** [BTCCでビットコイン \(BTC\) 先物取引のやり方【初心者向け】](#)

**関連:** [BTCCでイーサリアム \(ETH\) 先物取引のやり方【初心者向け】](#)

## 7. なぜ本人確認が必要?

---

暗号資産取引所にとって、顧客のためにビットコインやその他の暗号資産を保有することは、法的な意味合いがあります。具体的には、そのような取引所は、合法的に登録されている管轄区域の資金移動法を遵守しなければなりません。

そのため、ほとんどの中央集権的な暗号資産取引所では、プラットフォームを利用する前に口座開設プロセスを完了する必要があると、口座開設プロセスでは、本人確認を行う必要があります。規制当局は、マネーロンダリング、テロ資金調達、脱税を防止するために、暗号資産取引所に対してこのような要求をしていることは明らかです。また、規制当局は通常、取引所に対し、要求に応じて顧客に関する情報（取引履歴を含む）を報告するよう求めています。

しかし、多くの場合、電子メールを確認するだけで暗号資産取引所の利用を開始することができます。この「簡単な認証」には、購入金額の制限、出金・入金制限、場合によっては出金・入金ができないなど、かなりの制約があることが多いのでご注意ください。そのため、暗号資産取引所にビットコインやその他の暗号資産を入金する前に、引き出し/送金が許可されているかどうかを必ず確認してください。

次のレベルでは、通常、マイナンバーやパスポート、運転免許証などを提出する必要があります。場合によっては、ご自身の写真をアップロードしていただき、その写真に身分証明書と現在の日付と交換に必要な特定の情報を記載した紙を持たせる必要があります。

多くの取引所では、特定の国籍の方のアクセスを拒否していますので、ご注意ください。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

## 8. ピアツーピア（P2P）の暗号資産取引所

---

市場には多くの取引マッチングプラットフォームが出ており、それらのサービスは、

(1) ビットコインの買い手と売り手のマッチング

(2) 取引者のビットコインを物理的に保有せずに取引を促進する（通常は第三者預託の形で）ことに重点を置いている。これらの取引所は、ピアツーピア（P2P）の暗号資産取引プラットフォームとして知られています。

ピアツーピア取引プラットフォームは、ビットコインの売買に有効なチャンネルですが、直接取引について交渉する必要があるため、ある程度の不便さを伴います。買い手が買いたい量のビットコインを素早く入手し、競争力のある市場価格で購入することは難しいでしょう。また、販売者の所在地やビットコインの量によって、販売者が法的な問題に直面する可能性があります。これらの要因が相まって、ほとんどのピアツーピア・暗号資産取引所は、ユーザーが資金を保有するのに役立つ中央集権的な暗号資産取引所よりも著しく流動性が低くなっています。